

京都市立芸術大学移転整備プレ事業／状況のアーキテクチャー 2017

still moving 2017:

距離へのパトス — far away/so close

京都市立芸術大学は、2023年にJR京都駅東側エリアの崇仁地域へのキャンパス移転を予定しています。「still moving 2017: 距離へのパトス — far away/so close」は、移転整備プレ事業の一環として開催し、期間中多くの学生・教員に加え、地域の皆さんが参加しました。

京都市立芸術大学では、2023年に予定されるJR京都駅東側エリア、崇仁地域へのキャンパス移転に先駆けて、数々の移転整備プレ事業を崇仁地域・下京区を中心に京都市内各所で実施しています。「still moving」は、大学移転という大きな動きに対峙するためのプロジェクトとして、2015年から継続して行っているものです。前回までは展覧会形式で実施してきましたが、今回は、様々な活動をイベント形式で公開することとしました。

「東アジア文化都市 2017 京都 現代美術展 アジア回廊」の特別連携事業でもある今回の「still moving」では、「far away/so close (近くて遠い、遠くて近い)」をテーマに掲げ、現キャンパスと崇仁地域、あるいは現在の本学と移転した後の本学の関係といったものを当てはめました。

この「近くて遠い、遠くて近い」で表されるものは、数値で表すことのできる具体的な距離ではなく、あくま

で個人の主観に基づいた感覚であり、その人の背景にある文化や、その人が置かれた環境に左右されるものと言えます。例えば、大学の移転の問題はまさに、学生を含む本学関係者にとって「近くて遠い、遠くて近い」もので、個々に異なった感覚で捉えているものではないでしょうか。特に多くの学生にとっては、移転が卒業・修了後の出来事でもあることから、どちらかというと「近くて遠い」ものかもしれません。それでも移転計画が正式に発表された当初に比べれば、設計者が決定し、建築のための具体的なプロセスを踏み出したことで、徐々にではありますが「より近いもの」になりつつあると言えます。

現在本学では、本学が果たすべき役割として掲げる「大学であること」「芸術であること」「地域にあること」を改めて捉え直すための数々の事業を行っています。「still moving 2017」で示された、新しい大学が担うべき役

割、そして学生や若いアーティストのふるまいについて考えながら、これまでのアーキテクチャー（構造・枠組み）を一旦解体し、新しい芸術大学のアーキテクチャーを再構築することを目指す数々の実験は、「近くて遠い、遠くて近い」距離の感覚を生じさせている、文化や環境などのあらゆる条件を一度フラットにしてから改めて物事を考えていくための作業でもあります。

芸術大学というものは、しばしば社会から一つ線を隔てたもののように捉えられますが、移転後の新たな大学は、社会と常に接点をもちながら、互いに作用し、絶えず変化するものとなるでしょう。来るべきその日に向けて、「still moving」は、流動体のように形を柔軟に変化させつつ、未来の大学の姿を探し続けていくのです。

《開催期間》2017/9/23 - 11/5 の土日祝  
《会場》元崇仁小学校とその周辺

信  
21

京都市立芸術大学  
広報誌  
2018年1月発行



「Moving Terrace Works」会場風景 (撮影: 松見拓也)



金氏徹平「Tower」公開箱古 (撮影: 松見拓也)



「Moving Terrace Works」ワークショップ (撮影: 松見拓也)

Contents

- P.2-3 京芸トピックス  
祇園祭「鷹山」復興に協力／第156回定期演奏会／  
芸大祭／京都銀行 学生作品の買上／第2中期計画策定／  
キャンパス移転に向けた動き
- P.4 京芸の先生に訊く—下野竜也教授 (指揮専攻)
- P.5-7 これからのイベントスケジュール
- P.8 教員の退任及び退任記念企画のお知らせ



Still  
Moving!  
2017-2018

# KYOGEI Topics

## 京芸トピックス

京都芸大では学生、教員が年間を通じて多岐にわたる活動を行っています。  
ここでは学内における最近の主なトピックスをご紹介します。

### 1 祇園祭「鷹山」復興に協力

祇園祭の「休み山」で、約二百年ぶりとなる復興に向けた取組が進められている「鷹山」の裾幕等のデザインを本学美術学部・大学院美術研究科修士課程の学生39名が取り組むことになりました。

この取組は、美術学部総合芸術学専攻の吉田雅子教授(専門:染織工芸史)が鷹山調査委員会の委員を務めており、平成25年度にも本学の学生たちが大船鉾の裾幕等のデザインを行った実績があることなどに



扇子のデザインについてプレゼン中

より、始まったものです。今後複数年かけて、本学の学生が(公財)鷹山保存会とともに、裾幕及び音頭取り等の衣装や小物類をデザインしていきます。

今回デザイン制作に参加したのは、同学部の専攻横断型授業「テーマ演習」の一つである「祇園祭の鷹山の復興デザイン計画」の受講者たちで、今年度は曳子の衣装と扇子のデザインを行うことになりました。

平成29年7月27日(木)に、ちおん舎にて行われた鷹山保存会の役員の方々に対するプレゼンテーションでは、受講者が7班に分かれて曳子の衣装のデザイン案を披露。役員の方々による協議の結果、法被・帯・笠は3つの班の案を組み合わせたものとなり



デザイン制作に取り組んだ学生と鷹山保存会の皆さん

ました。

また、扇子のデザインでは17名の受講者がデザインを提案し、御神体の鷹匠を描いたデザインが採用され、その他4案がTシャツや次年度以降のデザインの候補となりました。

来年度以降も裾幕や音頭取り等の衣装や小物類のデザインを本学学生が引き続き担当し、鷹山の巡回復帰に協力していきます。

### 2 第156回定期演奏会を開催

本学定期演奏会は、音楽学部・大学院音楽研究科による教育研究成果の発信の場であり、市民の皆様にも温かく見守られながら60年以上に及ぶ歴史を積み重ねています。

平成29年12月11日に京都コンサートホールにて開催した第156回定期演奏会では、秋山和慶本学客員教授が指揮を務め、風景画を想起させるメンデルスゾーン、シューベルトのミサ曲で演奏される機会の多い第2番、そしてメインのシベリウスと美しい旋律の3曲を演奏しました。多くの方にご来場いただき、誠にありがとうございました。



<演奏曲目>  
F.メンデルスゾーン/序曲「フィンガルの洞窟」op.26  
F.シューベルト/ミサ曲 第2番 長調 D.167  
J.シベリウス/交響曲 第2番 二長調 op.43

Still  
Moving!  
2017-2018

### キャンパス移転に向けた動き

本学は2023年度を目途にJR京都駅東部に移転します。



2017年度は、前年度に京都市により策定された「京都市立芸術大学移転整備基本計画」に基づき設計が始まりました。

設計者には、乾・RING・フジワラボ・o+h・吉村設計共同体が選ばれ、2019年度までに基本設計・実施設計を行う予定をしており、現在、本学との協議の下に設計が進められています。

移転に向けた協議を進める一方、本学では移転整備完了までの期間、移転予定地を中心に地域住民等との連携の下、移

転の動きがさらに目に見えるものとなるような活動を展開し、移転の機運を高めていこうと、2015年から移転整備事業を展開しています。同事業においては、演奏やブース出店による地域イベントへの参加の他、演奏会や展覧会など様々な取組を行っています。

2月に開催の作品展では、移転予定地に所在する元崇仁小学校も会場の1つとして作品が展示されますので、是非お立ち寄りください。

### 3 平成 29 年度 芸大祭を開催

平成 29 年 11 月 3 日から 5 日までの 3 日間、大学の秋を彩る恒例イベントである「芸大祭」を開催しました。今年のテーマは『弾丸はチョコレート』。芸大祭を作り上げるために交錯している学生たちの強い思いを暖かさのこもったチョコレートの弾丸に見立て、その弾丸で学生と来場者の方々との壁を壊し、皆で一緒に芸大祭を作り上げていきたいという思いが込められていました。中央棟ピロティには、テーマにちなんだ大砲を模ったメインオブジェが登場し、来場者の目を楽しませる一方、学内の随所に京芸らしい凝った作りの模擬店が立ち、作品展や学生や教員によるコンサート、例年好評をいただいているミュージカルなどで大いに盛り上がりました。また、美術、音楽両学部の学生たちのコラボレーションにより企画された 2 日目のオーケストラ公演では、音楽学部作曲専攻 2 回



オーケストラによる演奏の様子

生の池内奏音さんの作曲による『チョコレート物語』を、音楽学部の学生 58 名による特別編成のオーケストラが演奏。楽曲が終盤に差し掛かったところで、美術学部の学

生たちが楽器として製作した「大砲」が登場し、時折吹いた冷たい夜風を一瞬忘れさせるような、大きな音を響かせ、公演は好評の内に終了しました。



美術学部の学生が制作した大砲



模擬店の様子

### 4 京都銀行美術研究支援制度により、学生作品を買い上げていただきました。

株式会社京都銀行が、平成 13 年の同行創立 60 周年を機に創設した「美術研究支援制度」の本年度の購入作品の受渡式が、平成 29 年 12 月 6 日（水）、京都銀行本店で行われました。

同行の「美術研究支援制度」は、本学の学生が制作した作品の購入を通じて制作者の美術研究費用を支援するとともに、銀行内外で購入作品を展示し、幅広い方々に鑑賞いただくことで優れた文化・芸術の創造・振興に寄与することを目的に創設されたもので、今年度に購入いただいた 8 点を含め、合計 133 点の作品を買い上げていただいております。

受渡式には、京都銀行から土井伸宏頭取、安井幹也取締役が、本学からは鷲田学長の他、藤原美術学部長等が出席し、土井頭取から今年度の買上げ対象者に目録が手渡されました。

今回買上げていただいた作品は、平成 30 年 1 月 15 日（月）から 2 月 24 日（金）までの間、同行本店営業部 1 階ロビーに展示していただいています。

#### 購入作品の内訳

- 日本画：2点
- 油画：2点
- 版画：2点
- 陶磁器：1点
- 漆工：1点



### 5

#### 第2期中期目標が決定

平成 24 年度から 6 年間で期間とする第 1 期中期目標・計画期間が平成 29 年度末をもって満了することから、本学並びに京都市では 30 年度を始期とする 6 年間の新たな中期目標・計画の策定作業を進めてきました。本学の設立団体である京都市から示される中期目標は昨年 10 月に京都市会で議決されました。

中期計画は、12 月に開催された公立大学法人京都市立芸術大学評価委員会での議論を踏まえ、29 年度中の策定に向けて作業を進めています。

第 2 期中期目標・計画では、公立大学法人化を機に得られた成果を最大限に生かしつつ、教育研究の更なる充実、創造的な人材の育成、教育研究成果の公開・発信に引き続き取り組むとともに、最終年度に控えるキャンパス移転を成功させることを目指しており、必要な取組等を 6 年間の計画としてまとめることにしています。

#### 新キャンパス イメージ図



# Interview

京芸の先生に訊く。

しものたつや  
音楽学部 指揮専攻 下野竜也 教授

広島ウインドオーケストラ音楽監督を務め、平成28年4月から京都市交響楽団、広島交響楽団、広島ウインドオーケストラで指揮者として第一線でタクトを振る一方、平成29年度より京都芸大に着任された下野竜也教授にお話を伺いました。

## Profile

下野竜也 [しもの・たつや]

鹿児島大学教育学部音楽科卒業(1992)。桐朋学園大学音楽学部附属指揮教室(1993-1996)を経て、大阪フィルハーモニー交響楽団指揮研究員。文化庁海外派遣研修員としてウィーン国立演劇音楽大学指揮科留学(1999-2001)。東京国際音楽コンクール(指揮)優勝および斎藤秀雄賞(2000)。プザンソン国際青年指揮者コンクール優勝(2001)。読売日本交響楽団正指揮者・首席客演指揮者歴任(2006-2017)。現在、広島交響楽団音楽総監督、広島ウインドオーケストラ音楽監督、京都市交響楽団常任首席客演指揮者。

### 一 音楽との出会いについてお聞かせください。

小学4年生の頃に器楽部に所属したのが音楽との出会いです。初めて目にしたトロンボーンやトランペット等の金管楽器はピカピカ輝き格好よくて、先生から楽器を持たせてもらった時は、高級なおもちゃを貸してもらったような感じで、ワクワクしました。

中学生になってからは地元放送局主宰のジュニアオーケストラでトロンボーンを吹いていましたが、演奏中の待ち時間が多かったこともあり、指揮の先生の指示や動きをじっくり見ていました。すると、その内に同じパートでも指揮者によって指示が異なったり、同じ曲のレコードでも指揮者によって雰囲気が違うことに気付くようになり、子どもなりに発見したそんなポイントが面白く、その頃から興味の対象が楽器から指揮に移っていきました。

### 一 指揮者の道を目指されたのはその頃からですか。

いえ、その時点では音楽の道に進もうとまでは考えてはなく、学校の社会科や歴史の先生になろうかと思っていました。しかし、生活の中に占める音楽のウエイトが高まるにつれて、指揮者は無理でも、音楽が身近にある生活を送りたいと考えようになり、音楽の先生の道を志すようになりました。その後、大学受験が間近に迫った高校3年生の暮れに足を運んだコンサートで、ベートーヴェンの交響曲第九番を聴いて大いに感動しました。今にして思えば、この時に本気で指揮者を目指すように心に決めたのかもしれない。

鹿児島大学入学後は、あちこちで指揮を振ら

せていただく機会もあり、指揮者を目指すか悩み続けましたが、卒業後の進路を決める時期に、プロの指揮者の方から指揮者を目指すのであれば上京して本格的に勉強しないと無理だと言われ、これを機に進学を決心し、そこから必死に学び、今日に至っています。

### 一 京都芸大の学生・大学に対する印象はいかがですか。

京都芸大の学生たちは素直で明るく、良くも悪くも少しおっとりしているように感じました。しかし、学生たちと話をしてみたり、行動を見ていると芯があり、各自それぞれのペースで勉強しているようですし、人数が少ない分、助け合って学んでいます。その一方で、時には仲間と競い合うことも必要ではないかなと思います。お互いに鎬を削り合ったり、批評し合うような良い意味でのライバル関係とも言えましょうか。私の学生時代の仲間との関係性には、そういった側面もありました。

大学に関しては、先生方の雰囲気も良く、小規模校ならではの目配り・気配りが行き届いていると思います。京芸では、京響の楽団員が指導されていますが、街の楽団と大学が密接に関わっている様子はウィーンの様ですね。

### 一 昨年夏の定期演奏会で初めて京芸の学生を指揮されてみて、感触はいかがでしたか。

当初は学生たちのエンジンのかかりが遅いように感じて少し心配しましたが、本番の一週間前になると目つきも変わり集中度が高まっていくのが見て取れ、演奏本番では学生たちの熱い

パッションを感じました。私にとっては初めての京芸の定期演奏会でしたから、普段とは違う緊張感もありましたが、私と学生たちの想いが反応し合い、忘れられない素晴らしい演奏会になりました。

私は、大学という場所は「答えの見つけ方を見つける所」だと考えています。ですから定演の際も、学生たちには私なりに考えてきたオーケストラのあり方を提示しつつも、この曲はこうみたいな断定的な言い方はせずに、考えに考えてもらいました。もちろん大学の4年間で全てを学べませんが、学生たちには時間のある今の内に、音符一つにこだわり、徹底的に考えてもらいたいです。プロの演奏家になったら現場で数をこなしていかななくてはなりません。私も学生の時に学んだことに助けられているなど感じます。

### 一 指導者として、どういった指揮者を育てたいですか。

演奏家に対する尊敬の念を持ちつつ、オーケストラを良い方向へ誘い、作曲家の考えに沿って一緒に音楽を作っていく姿勢が指揮者にとって大切だと考えています。

プロの指揮者を目指すのであれば、大学を卒業してからが本当の勝負だと思います。そのためにも大学の4年間では指揮者としての地力と指揮台に立つ責任感、姿勢を育てたいと思います。私もまだ40代で指揮者としては若い部類ですから、自分自身、勉強しなければならないことが多くあります。学生には私が楽曲に取り組んでいる姿や、もがいている姿を見てもらうことも良い機会ではないかと思っています。

### 一 京芸通信をお読みの方へ一言お願いします。

国内のみならず海外の楽団でも京芸出身者によく出会います。そうした有為な人材を輩出してきた実績と伝統ある大学に着任した責任と喜びを日々感じています。大学の伝統を尊重しながらも、面白い人材を輩出していける一助になりたいです。学生とともに成長していきたいですね。京芸では多くの演奏会を開催していますので実際に足を運んで学生の演奏を聴いていただければ幸いです。





Exhibitions  
展覧会

Concerts  
演奏会

Open Lectures  
公開講座



### A 思考する技術

会期 1/13 [土] - 2/12 [月・休] 入場無料  
会場 @KCUA

### B 日本伝統音楽研究センター 第 50 回公開講座 山田智恵子教授 退任記念 「義太夫節 通し狂言の復曲 第二回」

日時 2/4 [日] 13:00-16:30 予定 受講料:1,000 円  
会場 京都市男女共同参画センター ウィングス京都 詳細は P.8

### C 文化会館コンサートII -作曲専攻生による新作発表会-

日時 2/7 [水] 18:30 開演予定 入場無料  
会場 京都市北文化会館

### D 2017 年度 京都市立芸術大学 作品展

会期 2/7 [水] - 2/11 [日・祝] 入場無料  
会場 ①京都市立芸術大学: 最も多くの作品が展示される会場  
②京都市美術館別館: デザイン基礎、ビジュアル・デザイン専攻、プロダクト・デザイン専攻  
③元崇仁小学校: 環境デザイン専攻、ビジュアル・デザイン専攻

京都市美術館が改装中のため、今年度からメイン会場を本学学内に移し、同美術館別館及び元崇仁小学校と合わせた3会場で開催。学部生及び修士課程の全学生約700名と博士(後期)課程の作品も加えて一堂に展示。普段は見る事ができない各専攻の工房も展示会場となります。なお、最終日11日(日・祝)14時から鷺田学長と現代美術作家のやなぎみわ氏のトークイベントを開催します。



### E 日本伝統音楽研究センター 第 51 回公開講座 時田アリソン所長 退任記念 「日本・イタリア、二つの語り物」

日時 2/11 [日・祝] 13:30-16:30 予定 受講料:1,000 円  
会場 京都市男女共同参画センター ウィングス京都 詳細は P.8

### F 第157回定期演奏会大学院オペラ「コジ・ファン・トゥッテ」

日時 2/17 [土], 2/18 [日] 14:00 開演 入場無料  
会場 京都市立芸術大学 講堂 定員 400 名 事前申込制

大学院生を中心とした声楽専攻の学生と本学のアカデミーオーケストラ(大学院管弦楽団)の演奏でお送りする、毎年好評のオペラ公演です。今回はモーツァルトの代表作「コジ・ファン・

トッテ」を上演。大人の恋愛心理の移ろいが面白おかしく描かれた人気のオペラを学生たちが熱演します。

※ 事前申込は終了しました

### G 美術学部 同窓会展/状況のアーキテクチャー 2017 プロジェクト 2 「Still Moving: The '80s」 成果発表展

会期 2/17 [土] - 3/4 [日] 入場無料  
会場 @KCUA

2017年2月の美術学部同窓会展「1980年代再考のためのアーカイバル・プラクティス」に引き続き、東山区今熊野から西京区大枝沓掛町へのキャンパス移転を巡る企画です。移転が大学にもたらしたものを探るべ

く、今回は、80年代に続く時代として90年代前半の作品を展示します。また、前回同様、調査研究の発表の場「アーカイバル・プラクティス・ラボ」にて資料の公開を行います。



「1980年代再考のためのアーカイバル・プラクティス」展示風景(2017) 写真:大島拓也

### H 状況のアーキテクチャー 2017 プロジェクト 1 「物質+感覚民族誌」 成果発表展 「移動する物質—十字路としてのアフガニスタン」

会期 2/17 [土] - 3/4 [日] 入場無料  
会場 @KCUA

### I 日本伝統音楽研究センター 平成 29 年度 伝音セミナー 第 8 回「オリエントの謡曲 SP レコードを聴く」

講師: 高橋葉子 客員研究員  
日時 3/1 [木] 14:40-16:10 入場無料  
会場 京都市立芸術大学 新研究棟7階

### J ほしをみるひと - 藤原隆男 退任記念展 -

会期 3/10 [土] - 3/25 [日] 入場無料  
会場 @KCUA 詳細は P.8

### K 第 47 回 卒業演奏会

日時 3/21 [水・祝] 14:00 開演 定員 450 名 入場無料  
会場 京都府立府民ホール「アルティ」

音楽学部各専攻から成績優秀者として選ばれた、卒業生を代表する実力者が演奏・歌等を披露。京都芸大の教育成果の集大成を味わえる、一年に一度の機会をお見逃しなく。



## L 日本伝統音楽研究センター 平成 29 年度 伝音セミナー 第 9 回「音曲萬歳を聴く」

講師：藪田都 非常勤講師

日時 3/22 [木] 14:40-16:10

入場無料

会場 京都市立芸術大学 新研究棟7階

## M 京芸 transmit program 2018

会期 4/7 [土] - 5/20 [日]

入場無料

会場 @KCUA

京都市立芸術大学を卒業、あるいは大学院を修了して3年以内の若手作家の中から、いま、@KCUAが一番注目するアーティストを紹介するプロジェクトとして2017年度からスタートした企

画の第2弾。今回は小林紗世子(日本画)、吉田桃子(油画)、藤田紗衣(版画)、熊野陽平(構想設計)の4名が出品します。



参考画像：吉田桃子「scene UKH ver.3.1」展示風景(2017, ARTZONE)

## N 平成 30 年度 芸術資料館収蔵品展 第 1 期「京都芸大と京都市動物園(仮)」

会期 4/11 [水] - 5/13 [日]

入場無料

会場 芸術資料館陳列室

当館が所蔵する卒業作品の中から動物を描いた作品と、京都市動物園が所蔵する明治、大正、昭和時代の園内風景や動物の写真をあわせて展示します。



村上華岳《熊》(1907)

## O 平成 30 年度 芸術資料館収蔵品展 第 2 期「新収蔵品展」

会期 5/19 [水] - 6/24 [日]

入場無料

会場 芸術資料館陳列室

## P ホワイエコンサート

日時 5/19 [土] 17:10 開演予定

定員 100 名

入場無料

会場 京都国立近代美術館

京都国立近代美術館 1 階ホワイエ(ロビー)をステージに、春と秋の年2回開催するコンサート。演奏者と観客の距離の近さが魅力です。今回は作曲専攻生が作った楽曲を披露します。



## Q クロックタワーコンサート

事前申込制

日時 5/26 [土] 15:00 開演予定

定員 500 名

入場無料

会場 京都大学 百周年時計台記念館

※事前申込の詳細は、4月中旬頃からHPでご確認いただけます。

京都大学と本学の大学間交流事業の一環として、京都大学のシンボルとして親しまれている時計台記念館百周年記念ホールを会場に、本学のアカデミーオーケストラ(大学院管弦楽団)が演奏を披露します。



## R ウェスティ音暦1

日時 6/2 [土] 14:00 開演予定

入場無料

会場 京都市西文化会館ウェスティ

## S 拡張された領域における映像実験プロジェクト

会期 6/2 [土] - 7/8 [日]

入場無料

会場 @KCUA

## T 上村 昇教授 退任記念コンサート

日時 6/8 [金] 19:00 開演予定

定員 450 名

入場無料

会場 京都府立府民ホール“アルティ”

## U 第 32 回 ピアノフェスティバル

日時 6/14 [木] 19:00 開演予定

定員 450 名

入場無料

会場 京都府立府民ホール“アルティ”

学内オーディションから選ばれたピアノ専攻生による演奏会です。若きピアニストたちがピアノ楽曲の魅力をお届けします。本年はドビュッシーを特集したプログラムです。協賛：京都ライオンズクラブ



## V 平成 30 年度 芸術資料館収蔵品展 第 3 期「山口華楊展」

会期 6/30 [水] - 8/5 [日]

入場無料

会場 芸術資料館陳列室

## W 第 158 回 定期演奏会

日時 7/9 [月] 19:00 開演予定

料金 : 1,200 円

会場 京都コンサートホール 大ホール

1953年に第1回が開催された伝統ある本学の定期演奏会。京都芸大の力を結集した渾身の演奏会は必聴です。



	February 2月				March 3月				April 4月				
	4	7	11	12	17	18	4	10	21	22	25	7	11
展覧会			D	D	A	G/H		G/H	J		J		M
演奏会		C			F	F				K			N
公開講座	B		E							L			

**X** 京都市立芸術大学 芸術資料館収蔵品展  
「移ろう足音を探して」(仮)

会期 7/21 [土] - 8/19 [日]

入場無料

会場 @KCUA

協力作家に美術家の田村友一郎を迎え、京都市立芸術大学芸術資料館収蔵品のうち、明治期の本学に関連した資料を検証していきます。展覧会で

は、これらの資料を包括する新作インスタレーションを調査成果として発表します。



美術工芸学校絵画実習風景写真(山元春挙授業風景)

*Upcoming*  
2018年8月以降の  
主なイベント

**!** 展覧会

日時	事業名	会場
8/25[土]-9/2[日]	つながる糸 ひろがる布 —三大学染織専攻学生選抜展—	@KCUA
8/25[土]-9/2[日]	大谷史乃・長町那美・前田菜月 三人展	@KCUA
9/15[土]-10/28[日]	クリスチャン・ヤンコフスキー個展	@KCUA
9/18[火]-10/21[日]	平成30年度芸術資料館収蔵品展 第4期	本学 芸術資料館
10/27[土]-12/2[日]	平成30年度芸術資料館収蔵品展 第5期	本学 芸術資料館
11/10[土]-11/25[日]	秋山陽 退任記念展	@KCUA
11/29[木]-12/9[日]	留学生展	@KCUA
11/29[木]-12/9[日](仮)	いわゆるかまがさき—所謂釜ヶ崎	@KCUA
12/15[土]-12/24[月・休](仮)	Partition—パーティション	@KCUA
12/15[土]-12/24[月・休](仮)	松井沙都子「ミニマル・ハウス」	@KCUA

**!** 演奏会

日時	事業名	会場
9/24[月・休] 14:00開演	第8回 関西の音楽大学 オーケストラフェスティバル	京都コンサートホール
12/9[日] 14:00開演	第159回定期演奏会	京都コンサートホール

**★** その他

日時	事業名	会場
8/5[日] 10:00-17:30 予定	美術学部オープンキャンパス	本学
10/7[日] 10:00-17:30 予定	音楽学部オープンスクール	本学
11/3[土・祝]-11/5[月]	京都市立芸術大学祭	本学

会場案内 ※各会場へは公共交通機関をご利用ください。

京都市立芸術大学 京都市西京区大枝沓掛町 13-6

- > 京阪京都交通バス「芸大前」より徒歩すぐ
- JR 京都駅前バス乗場 C2 より 2・14・28 系統乗車 (約 45 分)
- 阪急桂駅東口より 1・2・13・14・25・28 系統乗車 (約 20 分)
- JR 桂川駅または阪急洛西口駅より 11A 系統乗車 (約 15 分)

京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA 京都市中京区押油小路町 238-1

- > 地下鉄二条城前駅 2 番出口より徒歩約 3 分
- > 市バスまたは京都バス「堀川御池」より徒歩すぐ

京都市男女共同参画センター ウィングス京都 京都市中京区御射山町 262

- > 地下鉄烏丸御池駅 5 番出口より徒歩約 5 分
- > 地下鉄四条駅・阪急烏丸駅 20 番出口より徒歩約 5 分

京都市北文化会館 京都市北区小山北上総町 49-2 (キタオジタウン内)

- > 地下鉄北大路駅 1 番出口より徒歩すぐ
- > 市バス「北大路バスターミナル」より徒歩すぐ
- > 京都バス「北大路駅前」より徒歩すぐ

京都市美術館別館 京都市左京区岡崎最勝寺町 13

京都国立近代美術館 京都市左京区岡崎円勝寺町 26 - 1

- > 市バス「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」  
または「岡崎公園 美術館・平安神宮前」より徒歩すぐ
- > 地下鉄東山駅より徒歩約 10 分

京都府民ホール アルティ 京都市上京区龍前町 590-1

- > 地下鉄今出川駅 6 番出口より徒歩約 5 分
- > 市バス 201・203 系統「烏丸今出川」より徒歩約 5 分

京都大学 百周年時計台記念館 京都市左京区吉田本町

- > 京阪出町柳駅より徒歩 20 分
- > 市バス「百万遍」または「京大正門前」下車すぐ

京都市西文化会館 ウェスティ 京都市西京区上桂森下町 31-1

- > 阪急上桂駅から徒歩約 15 分
- > 市バス 29・69 系統「西京区役所前」より徒歩約 2 分  
または 73 系統「平和台町」より徒歩約 5 分
- > 京阪京都交通バス「千代原口」より徒歩約 10 分

京都コンサートホール 京都市左京区下鴨半木町 1-26

- > 地下鉄北山駅 1 番または 3 番出口より徒歩約 5 分

日本伝統音楽研究センター

芸術資源研究センター



<http://w3.keua.ac.jp/jtm/>



<http://www.keua.ac.jp/arc/>

両研究センターでは、年間を通じて定期的に各種公開講座やセミナー、研究会を開催し、その成果の発表と市民の皆様への還元を図っています。開催情報は、両センター HP、大学 HP 及び SNS 等で随時発信中です。

May  
5月

June  
6月

July  
7月

	13	19	20	26	2	8	14	24	30	8	9	21
展覧会	N	O	M		S			O	V		S	X
演奏会		P	Q		R	T	U				W	
公開講座												

## ● 平成30年3月末に、6名の教員が退任します。

美術学部の西田真人教授(日本画)、藤原隆男教授(宇宙物理学)、音楽学部の前田守一教授(作曲)、上村昇教授(弦楽)、日本伝統音楽研究センターの時田アリソン所長、山田智恵子教授が、平成30年3月末で退任します。各分野で精力的に活動されるとともに、本学の教育発展に御尽力されたことに感謝し、今後ますますの御活躍をお祈りします。



### 開催しました!

## 西田真人 退任記念展「絵事循環」

会期 12/15 [金] - 1/8 [月・祝]

会場 @KCUA



この20年間で制作した日展出品作品を中心に23点の作品を展示しました。会期中には、西田教授による作品解説及び講演を開催しました。



「絵事循環」展示風景

### 退任記念講座

## 山田智恵子教授「義太夫節 通し狂言の復曲 第二回」

日時 2/4 [日] 13:00-16:30 予定

会場 京都市男女共同参画センター ウィングス京都

日本伝統音楽研究センター山田智恵子教授の退任を記念して開催する本講座では、研究成果に関するお話と、女流義太夫節の人間国宝であり本学の客員教授でもある竹本駒之助師により、伝承を失った義太夫節の音楽の復元演奏をします。

受講料 : 1,000 円



### 退任記念講座

## 時田アリソン所長「日本・イタリア、二つの語り物」

日時 2/11 [日・祝] 13:30-16:30 予定

会場 京都市男女共同参画センター ウィングス京都

時田アリソン所長の長年の研究テーマである「語り物」は、平家物語、浄瑠璃、民俗芸能のゴゼ歌、そして明治時代に誕生した浪花節に代表されるものです。本講座はその芸能の社会的意義と価値を検討し、日伊両国の事例等を踏まえた国際的視野に立った講演の他、常磐津節と浪花節の演奏も行い、日本独自の語り物の特徴の理解を深める試みです。

受講料 : 1,000 円



## 退任記念展 ほしをみるひと - 藤原隆男 退任記念展 -

会期 3/10 [土] - 3/25 [日]

会場 @KCUA

宇宙物理学者である藤原隆男教授の退任記念展。藤原教授による写真やCG映像等とともに、教員・卒業生・学生の展示。合わせて藤原教授の連続レクチャーやイベントを実施し、本学美術学部のユニークな芸術教育の一端を提示します。

〜ハールボップ彗星

1997年3月18日(写真:藤原隆男)

入場無料



## 退任記念演奏会 上村 昇教授 退任記念コンサート

日時 6/8 [金] 19:00 開演予定

定員 450 名

入場無料

会場 京都府立府民ホール "アルティ"

## 皆様からの御支援をお願いします。

### 京都芸大の寄付メニュー

#### 京芸友の会

目的: 学生活動や教育研究等の充実

募集対象: 個人・法人 (団体)

受入単位: 1口2千円

主な使途: 学生及び卒業生等の芸術活動支援  
学生活動の支援など

特典: オリジナルカードの贈呈

\* 本学主催の定期演奏会への御招待

\* 5口 (1万円) 以上の寄付者に限る

#### 未来の芸術家支援のれん百人衆

目的: 教育研究等の充実

募集対象: 主として地元老舗企業等

受入単位: 1口30万円×5年※

主な使途: 機材や楽器の購入、演奏会への支援など

※1口当りの金額・年数については御相談ください。

2017年中に御寄付をいただいた皆様の内、公表に同意いただいた方のお名前を掲載させていただきます。(敬称略・五十音順、京芸友の会への寄付者は法人・団体のみ記載)

#### 京芸友の会 への御寄付

西尾商事 有限会社

#### 未来の芸術家支援のれん百人衆 への御寄付

株式会社一澤信三郎帆布

伊奈正彦

巖本 博

永樂 善五郎

株式会社大垣書店

株式会社岡野組

京都みなみ会館

ジーケー・ジャパン・エージェンシー株式会社

医療法人知音会

株式会社トーセ

西陣織工業組合

株式会社西利

長谷ビルディンググループ

畑 正高

服部 重彦

一般財団法人不審菴

株式会社細尾

村山造酢株式会社



学長 鷲田清一

御支援いただき、ありがとうございました。